

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科		
科目名称	教育実習Ⅱ					授業形態	実習			
科目コード	750111	単位数	2単位	配当学年		実務経験教員		アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	藤本 朋美							ICT活 用		
授業概要	<p>本実習は、幼稚園における保育・教育の実践について体験的・主体的に学ぶことを目的としています（1～4）。 大学において学んだ理論や技術を実際の場で実践し、幼稚園教諭として必要とされる資質・能力・技術の基礎基本を身に付けるとともに、幼稚園教育を学ぶ者としての課題意識を明確にします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>子どもと幼稚園教育について実践的に学ぶ。</li> <li>既習の教科全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用力を養う。</li> <li>学習課題を発見するとともに、理論的に学んだことを実践的に確かめる。</li> <li>幼稚園教育への意欲と関心を高め、教師としての意志と適性を確認する。</li> </ol>									
関連する科目	<p>事前に「教育実習Ⅱ事前事後指導（幼）」を受講しておくこと。 履修後は「教職実践演習（幼）」を受講することが望ましい。</p>									
授業の方法と進め方	<p>4年次の11月に10日間、配属園で実施します。原則として観察・参加実習（前半）を経て、指導実習（後半）を行います。指導実習では、まず部分実習（朝の会や帰りの会、遊びの場面など）を経験し、実習最終段階で一日の指導を任される全日実習を行います。実習時は、毎日、実習日誌を記載し、考察を行います。</p>									
授業計画	配属先の園の計画による									
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>子どもに対する理解を深めることができる。</li> <li>幼稚園教諭の職務内容を理解することができる。</li> <li>幼稚園教諭としての基本的な保育技術を習得することができる。</li> <li>幼稚園の果たしている役割や機能、運営について理解することができる。 【知識・技能の育成】</li> <li>幼稚園教諭としての職業倫理および職責を自覚することができる。 【汎用的技能の育成】 【態度・志向性の育成】</li> </ol>									
学位授与の方針（DP）との関連	<ol style="list-style-type: none"> <li>知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)</li> </ol>									
授業時間外の学習【予習】	実習に向けて、事前準備を各自積極的に取り組んでください。									
授業時間外の学習【復習】	実習後は、省察を通して保育者としての課題を明確にし、今後の学習につなげてください。									
課題に対するフィードバック	実習日誌は評価後、助言を付して実習園より返却されます。									
評価方法・基準	<p>本学の教育実習評価単位認定方法に照らした実習園の総合評価 85点 実習日誌 15点</p>									
テキスト	『幼稚園教育要領解説』文部科学省（2017）フレーベル館、（240円＋税） 「実習の手引き」南九州大学									
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介します。									

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科		
科目名称	教育実習Ⅱ					授業形態	演習			
科目コード	750111	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	河野 康男、宮内 孝、後藤 吉道							ICT活 用	○	
授業概要	<p>この授業では、事前指導において設定した自己課題を解決するために、3週間の教育実習に取り組みます。実際の教育の営みの体験や教育実践を通して、今まで学んできたことを確認したり新たな課題を設定したりします。さらには、子どもとのかかわりのなかで、子ども理解を深め対応スキル向上を図ります。</p> <p>授業者は、小学校教諭・教頭として教育実践及び教育実習生の指導を行った経験があります。この経験を通して得た知見を生かして、学校の教育的な営みや教育現場に臨むために必要な構えや資質等の解説・指導を行って、本授業での学びが深まるようにします。</p>									
関連する科目	教育実習Ⅱ事前指導									
授業の方法と進め方	教育実習は6月に実習前半1週間、11月の実習後半2週間の2回に分けて実施します。道徳科、算数科の研究授業など教育実習校が設定した計画に基づいてすすめられます。退庁後は、大学において教育実習日誌作成や授業準備等についての指導を受けることもできます。									
授業計画	教育実習校が設定した計画に基づいてすすめる。									
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育実習における自己課題を達成するとともに、今後の自己課題を設定する。</li> <li>2. 研究授業などを通して、授業実践に必要な基本的な知識や技能を獲得する。</li> <li>3. 子どもとのかかわりを通して子ども理解を深めるとともに対応スキルを高める。</li> </ol>									
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)									
授業時間外の学習【予習】	翌日の実習計画に基づいて、準備をします。									
授業時間外の学習【復習】	実習日誌作成を通して、1日の省察をします。									
課題に対するフィードバック	その都度必要に応じて指導します。									
評価方法・基準	実習校からの評価-60% 実習取り組む関心・意欲-20% レポート 20%									
テキスト	南九州大学子ども教育学科編『教育実習の手引き』 その他、必要に応じて資料を配布									
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介します。									